



## 9 | 8 ユニーク競技で優勝目指す チャレンジスポーツ大会

スポーツセンターでチャレンジスポーツ大会が開かれ、新十津川小学校の児童44人が参加しました。

この行事は、子どもたちがスポーツに取り組むきっかけづくりが目的。2階から落ちてくるボールをキャッチする「キャッチDEER」や、サッカーのPK戦の要領で的当てをする「フアイティングキック」など、スポーツにゲーム要素を取り入れたユニークな競技が7種目用意されました。

子どもたちは5つのチームに分かれて、個人種目5つ、団体種目2つの計7種目で得点を競い合いました。

## 9 | 20 小さな善意の結晶 新小がかおる園に車いす贈呈

新十津川小学校児童会が、空き缶のプルタブを集めて車いすと歩行器に交換し、特別養護老人ホームかおる園に贈呈しました。

プルタブ回収は小学校統合後からの取り組み。3年半をかけて集めた1100口のうちの750口を車いすに、250口を歩行器に交換しました。

児童会長の平石あかねさん（6年）は「この車いすと歩行器を使って、かおる園の皆さんが元気になってくれたらうれしいです」と話していました。





## 9 | 19 亀の甲より年の功 百歳のご長寿に祝い状

今年度新たに満百歳を迎える塩崎アキさん（花月）、斉藤ちよさん（花月）、田中正さん（文京）の3人に対して、総理大臣から祝い状が送られ、植田町長が一軒一軒を回って本人に手渡しました。

好き嫌いが無いという塩崎さんは「長生きの秘訣は、3食しっかり食べること。それから、軽い体操や散歩をし、1日1回は外へ出ることです」と話しました。

また、斉藤さんは「昔、山や田んぼでたくさん働いた。そのときの体力が、今も体に生きているのだと思います」と話していました。

## 9 | 22 職人技でよみがえる切れ味

新十津川技能協会（宮野善良会長）の会員17人が、商工会館東側の敷地内で包丁研ぎのボランティアを行いました。

8回目となる今年は、橋本区、みどり区、青葉区の住民を対象に実施。持ち寄られた71本の包丁を一本一本丁寧に研ぎました。

2本の包丁を研いでもらった明杖恵美子さんは「自宅ではあまり上手に研ぐことができないので、切れ味には大いに期待しています」と話していました。



## 9 | 26 会話はずみ楽しく運動

シニア世代の新たな趣味づくりを目的としたシニアいきいきクラブのヨガ教室がゆめりあで開かれ、7人がヨガに挑戦しました。

参加者は、指導者の川口恵美子さんの手本に従って、空気の流れを意識した呼吸法や、足の指のほぐし方などを学びました。

松添世輝子さんは「先生のやり方だと、痛くなくてちょうどよくできました。これからも続けていきたいです」と話していました。

